

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とリモコン受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点滅を頻繁に繰り返すとランプの寿命が短くなります。

■電球形蛍光ランプ使用上のご注意

- 点滅を頻繁に繰り返す場所ではランプ寿命が短くなりますので不向きです。
- 点灯直後は暗く約30秒で明るくなります。
- 点灯直後約20分間は明るさや光色が若干変化します。

■器具のお手入れ ▲ 注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。
(ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼になれない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)

製品・お取り扱いなどのご相談は

お客様相談室

ナビダイヤル (全国共通番号) 電話  0570-055123

受付時間：9:00~17:30

※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

FAX 072-986-5036

修理・アフターサービスのお問い合わせは

サービスセンター

ナビダイヤル (全国共通番号) 電話  0570-015123

FAX  0570-025123

受付時間：9:00~17:30

※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

- ナビダイヤルにかからない場合は、「お客様相談室」☎072-986-5081にお電話願います。

- ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2016年4月現在)

愛情点検

★長年ご使用の照明器具の点検を！



ご使用の際
このような
症状は
ありませんか



ご使用
中 止

故障や事故防止のため、電源スイッチを
切り、必ず販売店に点検、修理を依頼し
てください。



安全に
関する
ご注意

- 照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
- 周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

コイズミ照明器具 保証書

<保証について>

- 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- ランプ(LED電球含む)・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

<アフターサービスについて>

- 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎていた場合は、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
- 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店またはコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。
※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より) 本体: 1年間 安定器・LED電源/モジュール: 3年間

お買上年月日

お名前

ご住所

電話 ()

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

コイズミ照明株式会社

〒541-0051 大阪府中央区備後町3-3-7

再生紙を使用しています。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番 AU36174F・AU36176F・AU36178F・AD35828F
AD35832F・GU36375F・GU36376F・GU36377F

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	 禁止	この器具は天井埋込専用器具です。 傾斜天井・壁などには取付けできません。 →器具の落下によるけがの原因になります。
	この器具は防雨型です。 浴室、サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
 禁止	この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。 →早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障の原因になります。	 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
	(一社)日本照明工業会・断熱施工用埋込形照明器具SGI形適合品です。マット敷き工法(住宅用人工鉱物繊維断熱材JIS A9521)で施工された天井に使用することができます。ブローイング工法(吹き込み用繊維質断熱材JIS A 9523)及び特殊な断熱施工された天井には使用しないでください。 →火災の原因になります。		器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。
	外郭が天井内の造営物やダクトなどの設備に触れないように施工してください。	 厳守	器具の直下は高温になっています。ドアや家具、ダンボールなどの可燃物を近づけて使用しないでください。 →被照射物の焼損による火災の原因になります。
	  <マット敷き工法> <ブローイング工法>		異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。
 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。	 アース工事	アース端子(線)が付いている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合は感電の原因になります。



注 意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。	 禁止	ガス機器など温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。 また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。
 厳守	照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状況で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。 →放置すると、火災・感電・故障の原因になります。		ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

■定格

型 番	定格電圧	周波数	消費電力	使用ランプ
AU36174F・AU36176F・AU36178F AD35828F・AD35832F・GU36375F GU36376F・GU36377F	AC100V	50/60Hz 共用	10W	EFD15形 (E26) × 1

※センサ待機モードで消灯している場合、約0.2Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 設置場所を確認する

・下図のような場所には取付けない
誤作動の原因になります。

車のヘッドライト等、強い光が直接センサ部に入る場所には取付けないでください。 	風等でよく振れる植物等がある場所には取付けないでください。 	感知エリア内に障害物のある場所には取付けないでください。
エアコンの吹き出し口の近くには取付けないでください。 	取付高さが3mをこえる場所には取付けないでください。 	不安定な場所や振動の激しい場所には取付けないでください。
昼間でも暗い場所(木かげ・ひさしの下等)に取付けますと、早く点灯、遅く消灯することがあります。センサ感知エリアは、気象条件によりバツキがあります。 	夜間でも明るい場所(隣地や他の照明がセンサにあたる)への取付けはできません。点灯しないことがあります。 	感知エリア内に車、小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。

・無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。

3 器具と他の光源は(負荷連動する器具も含む) 1m以上離して取付ける

誤作動の原因になります。

4 取付面が十分乾燥していることを確認する

器具や取付面の変色の原因になります。

5 自動点滅器(ディライトスイッチなど)との併用はしない

誤作動の原因になります。

6 壁スイッチを設ける

誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。

＜ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示灯が点灯するタイプの場合＞

壁スイッチの使用は2個(3路配線)までとしてください。壁スイッチを3個以上使用される場合はホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

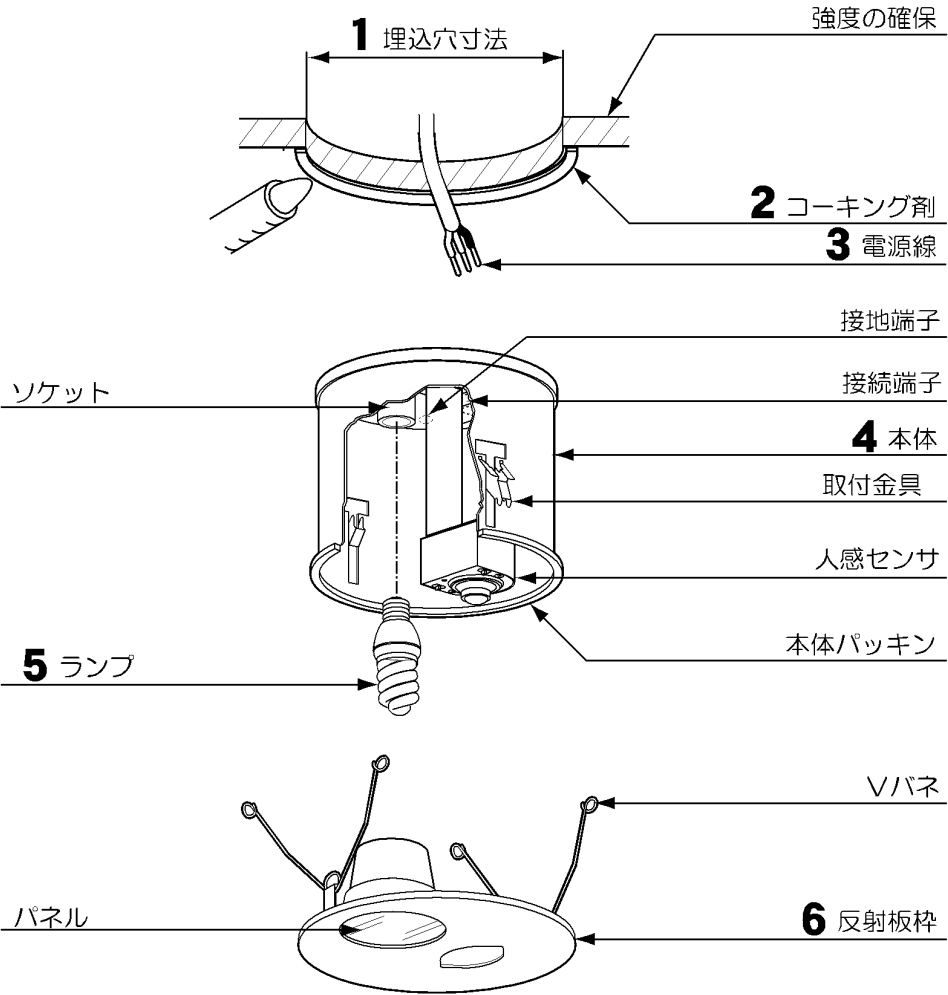
＜パイロットスイッチなど、電源ON時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合＞

壁スイッチがONの状態でも、器具のランプが消灯している時は、スイッチのパイロットランプは点灯しません。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

このような場所には取付けないでください。



＜付属部品＞

エリアマスク・・・・・・・・・・1個

1 天井に埋込穴をあける

埋込穴寸法	天井材厚
$\phi 150 \begin{smallmatrix} +2 \\ -0 \end{smallmatrix}$	1~35mm

2 取付面が凹凸のある天井の場合

取付面と本体の間にすきまが発生している場合は、コーキング剤で天井面を平面とする。

- ⚠ **注意** タイル面などの取付面に凹凸がある場合はすきまを埋めてください。
本体パッキンと取付面とのすきまを防水シールなどで埋めてください。
→火災・感電の原因になります。

3 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて、電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込んでください。また、送り配線は照明器具専用とする。電源接続をする際は壁スイッチを必ず設ける。送り配線を行う際は下図のとりの配線を行う。はずす時は解除ボタンを押し、電源線を抜く。

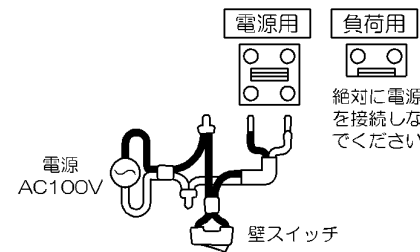
※ **D種（第三種）接地工事を行なう。**

⚠ **電源の接続を確実に行ってください。**

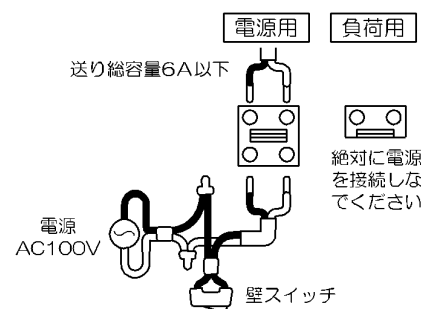
端子台カバーを外さずに電源線を接続してください。

接続が不完全な場合や容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。

【基本接続】



【送り配線(動作連動をさせない場合)】

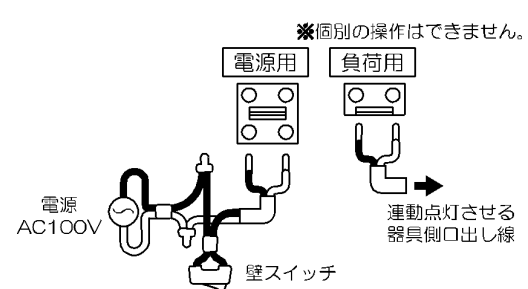


※センサ器具を接続しプルレス操作すると連続点灯モードに切り替わらない場合があります。

※ **負荷用の接続端子には絶対に電源線を接続しないでください。**

注) スイッチは同梱されていませんので別途ご用意ください。

【送り配線(動作連動をさせる場合)】



負荷連動(送り配線)できる器具
白熱灯60Wまで
蛍光灯
グロー・クイック式20W まで
インバータ式 13W まで
(電球形蛍光ランプ含む)
LDA7-A1 1個

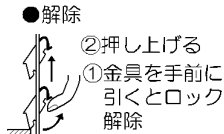
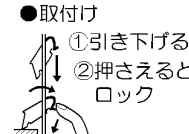
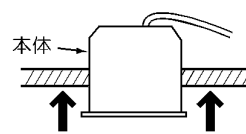
※蛍光灯高力率器具は接続できません。

※センサ付器具は接続できません。

※屋内用および内玄関器具とは接続しないでください。

4 本体を取付ける

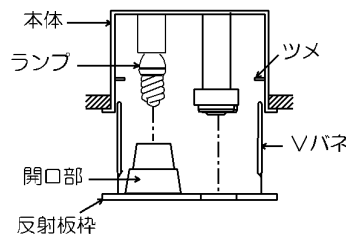
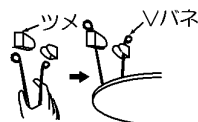
本体を天井穴へ押し上げ、天井に確実に取付ける。



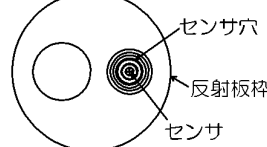
5 ランプを取付ける

6 反射板枠を取付ける

ランプと開口部の方向を合わせ、Vパネを指先で締めながら本体のツメに引っ掛けて水平に押し上げる。

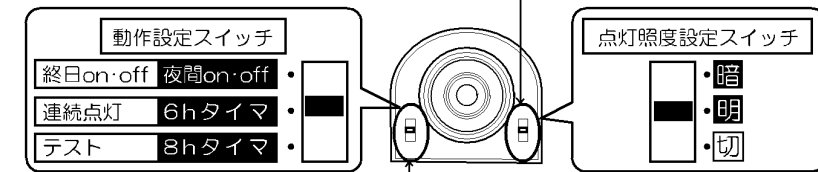


※反射板枠を取付た際、センサ穴に対しセンサがずれた場合は、反射板枠を動かし位置を合わせてください。



7 点灯の確認を行なう

■センサの内容



動作設定 スイッチ	テスト 8h タイマ			連続点灯 6h タイマ			終日on・off 夜間on・off		
点灯照度設定 スイッチ	切	明	暗	切	明	暗	切	明	暗
設定内容	テストモード	8時間 タイマーモード 約45ℓ×で 点灯	8時間 タイマーモード 約15ℓ×で 点灯	連続点灯 モード	6時間 タイマーモード 約45ℓ×で 点灯	6時間 タイマーモード 約15ℓ×で 点灯	終日on・ offモード	夜間on・off モード 約45ℓ×で点 灯できる状態	夜間on・off モード 約15ℓ×で点 灯できる状態

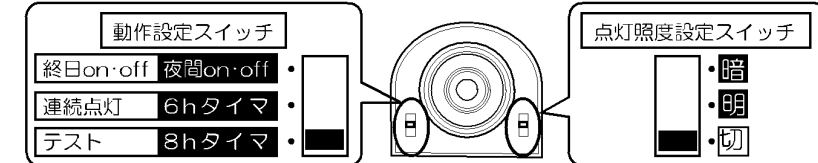
※センサが感知すると、約2分間点灯します。(テストモード、連続点灯モードを除く)点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。
※スイッチの設定を変更した場合、壁スイッチを一旦5秒以上OFFにしてからONにしてください。誤作動する場合があります。

■感知エリアの設定

テストモードでセンサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

テストモード

下図のように点灯照度設定スイッチを「切」に、動作設定スイッチを「テスト」に設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。



①電源投入後、約20秒間点灯し、その後は明るくても人を感知することにより約5秒間点灯します。結線および負荷の動作を確認できます。

②明るい時(昼間)でも人を感知する毎に約5秒間点灯します。

※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。



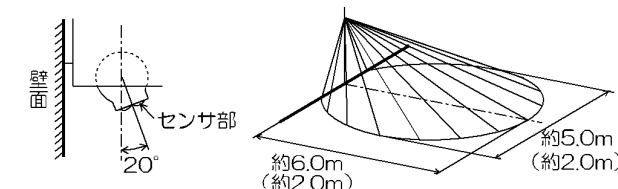
壁スイッチをONにする 照明は約20秒間点灯

●センサを動かして感知エリアを調整できます。

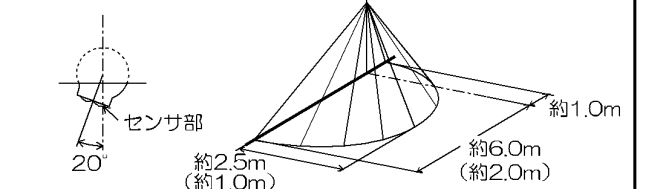
※調整範囲以上無理に動かさないでください。

●エリアマスクで感知エリアをせまくできます。
エリアマスクの凸部をセンサの凹部に「カチッ」と音がするまではめ込んでください。

●前方へ20°可動させた場合＜高さ 2.0m＞



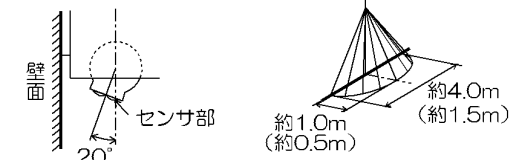
●横方向へ20°可動させた場合＜高さ 2.0m＞



●可動角度0°の場合＜高さ 2.0m＞



●手前(器具側)へ20°可動させた場合＜高さ 2.0m＞



※()内はエリアマスク使用時

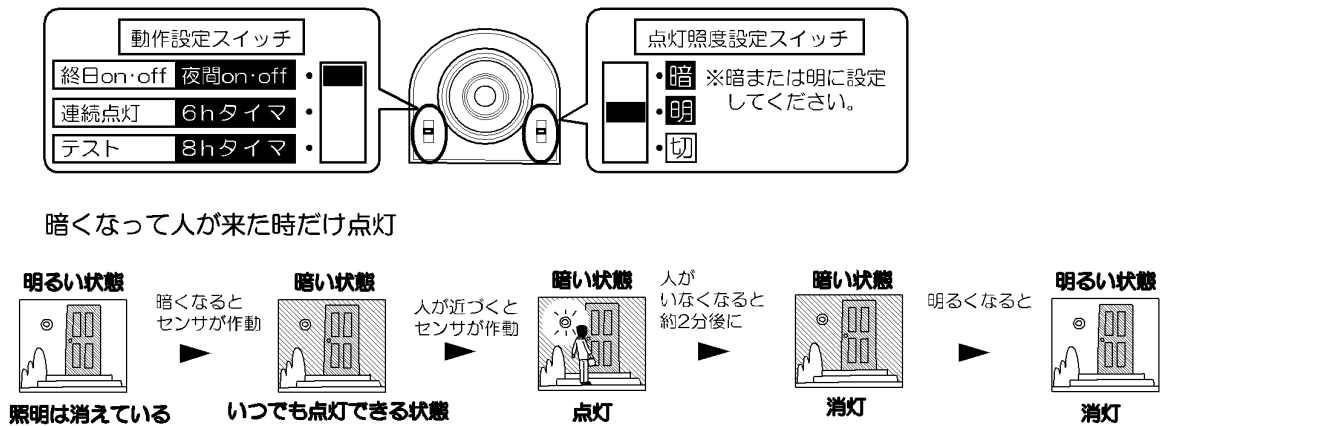
※センサに向かった動作では感知しにくい場合があります。(約半分の距離になります。)

※感知エリアはセードの形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。

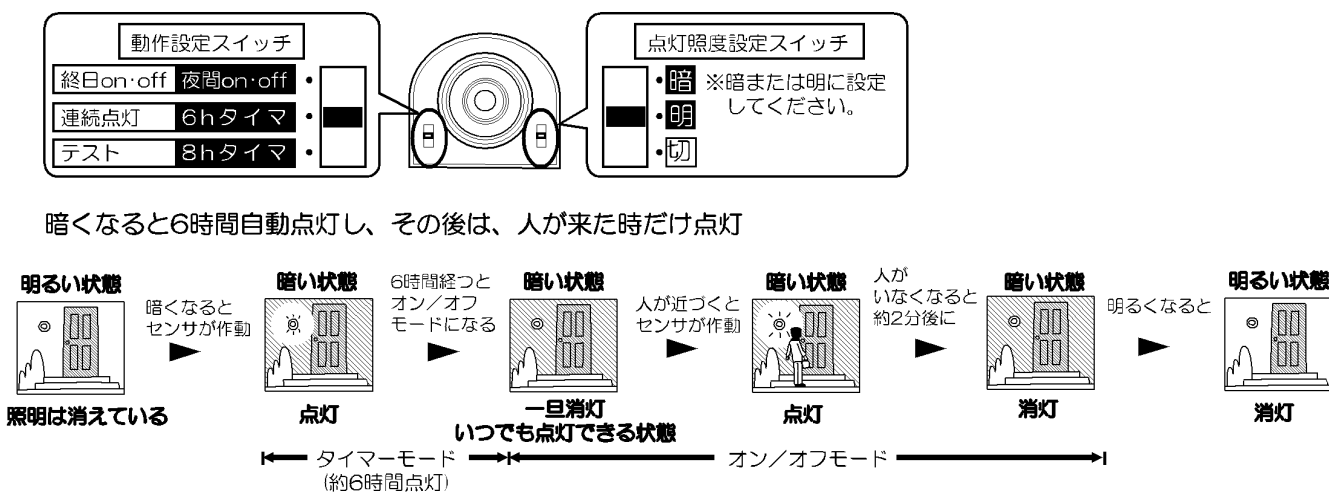
※エリア確認後は必ず■センサの設定を行なってください。

ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで動作と点灯照度を設定してください。

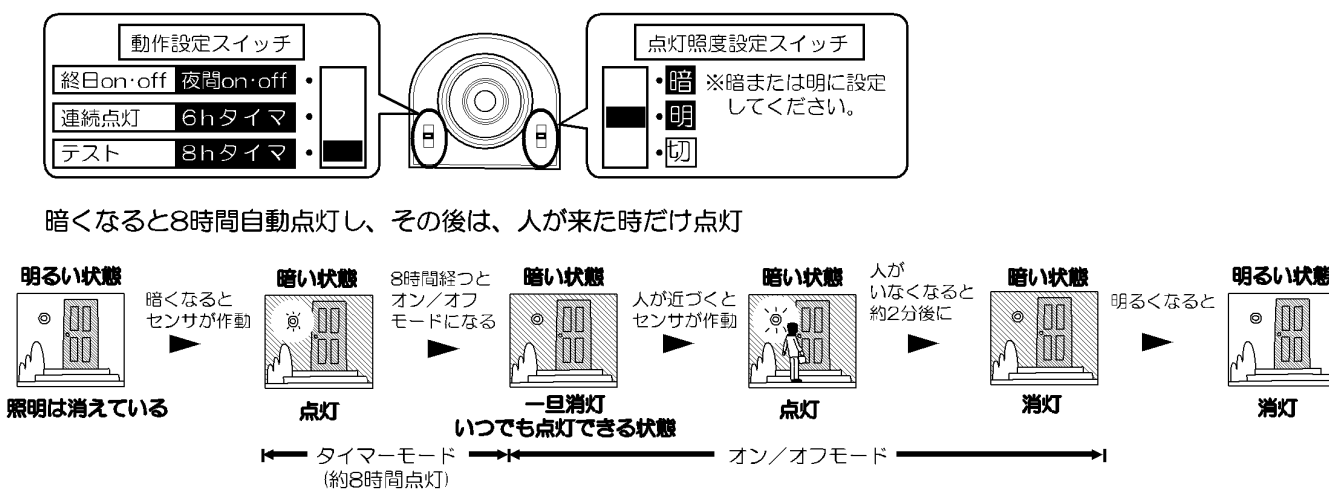
夜間オンオフモード



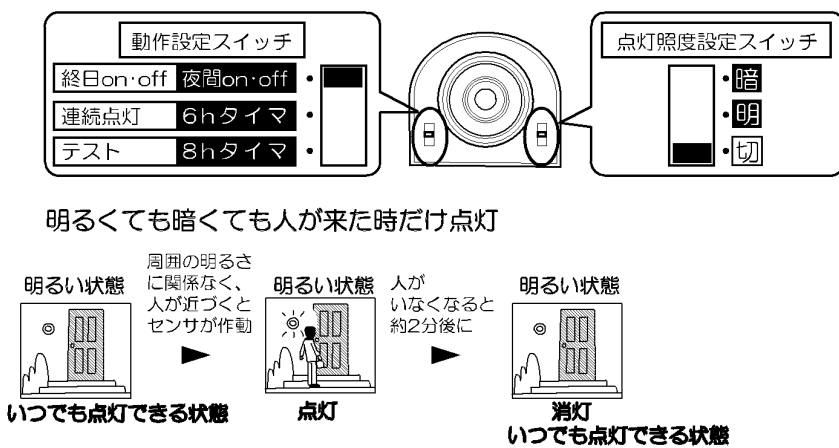
6時間タイマーモード



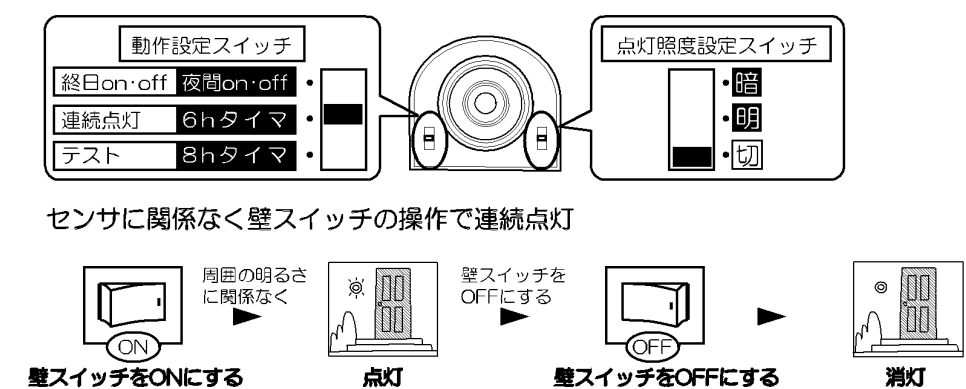
8時間タイマーモード



終日オンオフモード



連続点灯モード



※電源投入後、約20秒間点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感じるとに約5秒間点灯します。
電源投入から約60秒後に一旦点灯し設定したモードになります。
※設定後、連続点灯モード以外は、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

❗ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■ランプ交換について ⚠ 注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

⚠ 警告 指定のランプ以外は使用しないでください。

間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。
やけどの原因になります。しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

2 反射板枠を取外す

反射板枠を垂直に引き下げて、本体から
取外してください。

3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。
落下によるけがの原因になります。
白熱ランプは使用できません。

5 施工手順6を参考に枠を取付ける

6 使用済みのランプは
必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

